

## 夏季インターンシップ

## 将来に役立つ実体験が魅力!

リアルな体験を通して  
自分に合った「働き方」が見えてくる

「インターンシップ」は企業の業務を実際に体験でき、将来の働き方を考える上で非常に参考になります。本学では今年度から海外インターンシップをさらに拡充し、今夏は国内外合わせて146人の学生が参加しました。2017年10月21日に行われた「夏季インターンシップ全体報告会」では、代表者が発表した後、約10人のグループに分かれて個々の体験を発表。互いに情報をシェアすることで、幅広い業界の知識を得ました。参加した3年生は「周囲の意欲的な姿に刺激を受けた」と、いよいよ始まる就職活動に向けて弾みをつけた様子です。近年このインターンシップでは1~2年生の参加も増えています。興味のある方は八尾駅前キャンパス3階キャリアセンターまでご相談ください。



## 国内インターンシップ 発表者



## 海外インターンシップ 発表者



## グローバルなビジネス感覚が身につきます

神田 貴央さん 法学部法律学科3年生  
インターンシップ先:カニエイ産業株式会社(タイ)

私は、日本と海外のコミュニケーションの違いを知りたくて、タイにある日系の製造企業のインターンシップに参加しました。期間中、営業にも同行させてもらったのですが、そこで感じたのは、現地の国にお世話になるという感謝の姿勢です。現地の文化や宗教の違いを理解し尊重してこそ、自社のパフォーマンスを最大限に活かせると思いました。

## 語学力だけでなく、異文化理解が大切です

西銘 夏生さん 経済学部経営学科3年生  
インターンシップ先:株式会社伸明(ベトナム)

11日間のベトナム滞在中、2日間は現地スタッフに観光に連れて行っていただき、今まで知らなかったベトナムの文化や歴史に触れることができました。海外で就職を考えた当初、語学力が一番大切だと思っていたが、この経験を通して本当に必要なのは異文化理解だと気づきました。互いの文化を理解し共有することの大切さを実感しました。

## 学生のうちに失敗を恐れず果敢に挑戦しよう

石井 郁弥さん 法学部法律学科2年生  
インターンシップ先:株式会社オーラレス21(フィリピン)

今回、海外インターンシップに挑戦したおかげで、観光とは違った視点でフィリピンという国を知ることができ、また逆に日本のことも客観的に見ることができます。学生時代は社会人に比べればまだ責任が軽く挑戦できる時期。今後も失敗を恐れずいろいろなことに挑戦し、その経験の中から一つひとつ学びを得て、社会に出た時の下地を作りたいと思いました。

## 言葉の違いを通して、心の交流の大切さを感じました

森井 美咲さん 経済学部経営学科3年生  
インターンシップ先:株式会社オーラレス21(インドネシア)

私は現地のインドネシア語を全く話せないため、最初はとても心配でした。しかし、実際にインターンシップ先に行ってみると日本語の堪能な方が多く、他の方も分かりやすい英語で話してくださったので会話を困ることはありませんでした。それに言葉の違いを通して、かえって心の交流、異文化に対する理解の大切さを感じました。



## My Motto 私の座右の銘



## 「知彼知己、百戦不殆」

拓殖大学大学院商学研究科 修士(商学)  
山根 阳一  
経済学部 経営学科 准教授

彼を知り己を知れば、百戦殆うからず。『孫子』謀攻編五にある言葉です。相手を知り、自らのことも知つていれば、幾度戦っても敗れることはないという意味です。何かに対峙するときには、まずその対象について、しっかりと知る必要があります。そして、自らのことを客観的にしっかりと理解すること、これが大事です。相手と自分の強みと弱みを知ることで、何をすべきかが見え

できます。知るということは、非常に大切なことで、「論語」第一巻に「知之為知之、不知為不知、是知也(之を知る之を知ると為し、知らざるを知らざると為す。是れ知るなり。)」とあるように、知らないことを知ることが知ることと言えるでしょう。悩んだときには、しっかり見つめ直すことで活路が見出されます。あとはよくよせずに、割り切る心を持つことが肝要です。

田中 慎吾さん  
経済学部経済学科4年生

**努力した分だけ  
自信が  
湧いてきます!**



就職活動は  
成長するための時間。  
前向きに取り組んで

宮崎 靖大さん  
経済学部経営学科4年生

就職活動は、自分自身と向き合う時間です。自己アピールや面接対策を通して、自分の長所、短所をよりハッキリと自覚できるようになります。私の場合、長所は負けず嫌いなところ、短所は人前で緊張しやすいところです。以前なら深く考えることもありませんでしたが、希望する将来に進むためには長所を伸ばし短所を改善しようという気持ちになりました。

今、人前で落ちちで話すことができるのも、これまでの努力の成果だと思います。

CareerVision  
[キャリアヴィジョン]  
Vol.13 2017.12.08  
大阪経済法科大学 キャリアセンター

将来の夢に向かって大きく踏み出す就職活動。  
本格的なスタートを控え、不安を感じている人もいるかもしれません。  
そこで、内定を獲得した4人の先輩たちからアドバイスをいただきました。

**Uターン就職はチャンス  
多数! 説明会でも自分を  
アピールして**

森岡 季樹さん  
法学部法律学科4年生

私は地元・徳島県にUターン就職します。地方の企業の場合、大阪での説明会開催について情報が乏しく苦労することもあります。ただ、いざ説明会の会場に行くと、学生の数が圧倒的に少ないため、人事担当の方に顔と名前を覚えていただけます。私は、徳島に住む家族や友人に頼んで情報を集め、説明会では一回でも多くの担当の方と接点を持つよう努めました。Uターン就職は、考え方を変えれば自分をアピールする機会を多く持つことができ、成長できるチャンスだと思います。



まずは日本の就職活動を  
理解するところから  
始めましょう

ダオ フェン チャムさん(ベトナム人留学生)  
経済学部経済学科4年生

日本の就職活動はとても独特です。例えば、新卒採用は他国ではなかなか見られないシステム。他にも母国と違う点が多々ありました。まずは活動の進め方、また企業はどんな人物像を求めているのか、しっかり理解しておくべきだと思います。私は最初、慣れない面接の場に緊張し、うまく回答できませんでしたが、失敗の中から原因を探り、ホテル業界が求める英語力をアピールするようになりました。その後、株式会社阪急阪神ホテルズに内定をいたしました。

また面接では、業界を問わず「なぜ日本で就職したいのか?」を質問されるので、自分の言葉で答えられるようにしておくといいと思います。



## 留学生のためのビジネスキャリア講座

## 気になる日本企業の動向をプロの目線でアドバイス

日本企業への就職を目指す海外留学生に向け、現在ビジネスキャリア講座を全8回行っています。講師は、これまで数多くの外国人留学生を支援しており、講座では企業の目線も意識しながら鋭いアドバイスをしていただけます。近年、日本企業では、グローバル化やダイバーシティによって積極的に留学生採用を行っています。特に販売・営業業や、翻訳・通訳の分野に就職する学生が多く、内定獲得は決して難しいことではありません。講座では自己PRについて考え、就職活動に役立つ日本語も学べます。ぜひ、積極的に参加してください。



# [就活シリーズ講座] 業界研究編 徹底した準備の先にこそ、希望の進路が拓けてくる!

## Business

### 金融業界特集[銀行・証券]

#### 目まぐるしく動く業界を知るため 今年度から「金融アカデミー」を開講!

常に高い人気を誇る金融業界。業界内は、主に銀行、証券、保険、信販クレジットの4つの分野に分けられます。またお金の流れに関しては、直接貸し手からお金を調達する直営金融、銀行などの金融機関を介して借り入れる間接金融の2種類があります。

まず銀行に関しては、マイナス金利の継続、またITを使った金融サービス「フィンテック」の登場によって他業種の参入が可能になり、今後も苦しい状況が続くと言われています。しかし、考え方によれば、取り組み方の違いを見ることで各行の特性が明らかになります。企業選びの際はそれぞれの違いを見ながら、自身の価値観と照らし合わせて考えましょう。

直接では、フィンテックによる人員削減への影響についての質問やフィンテックを活用した新しい提案についての質問も考えられます。準備しておくと安心です。

一方、業界におけるもう一つの柱、証券会社では、2020年に開催される東京オリンピックや企業の業績回復などの明るい材料があり、年金への不安などの理由によって資産運用へのニーズもますます拡大しています。さらにソフトバンクやSOMPOホールディングスなどの大手企業による外国企業の買収が加速。今後は、グローバル化する日本経済を活性化させるダイナミックなビジネスができるでしょう。

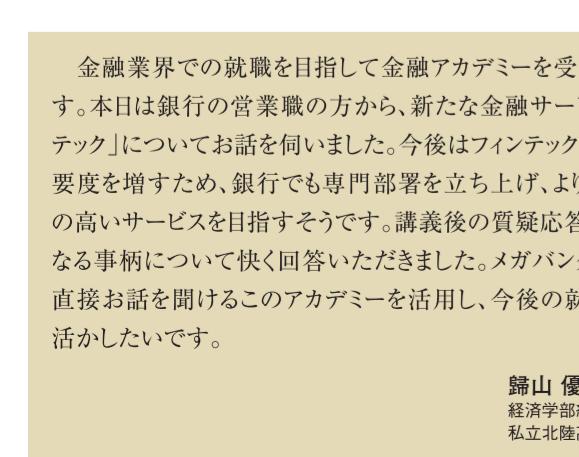
本学では、今年度から金融業界を志望する学生に特化した「金融アカデミー」を開講しています。前述した業界の基礎知識、また最新の動向を、業界の人材支援に携わってきた講師から教えていただきます。ためになる話ばかりで、まさに貴重な機会といえます。12月15日以降も2回開講を予定していますので、ぜひ希望進路の実現に役立ててください。



自身の営業経験をもとに「お客様と一緒に成長できる仕事です」とやりがいを語る本田氏。



佐土 博信氏  
SMBC日興証券株式会社 大阪公益法人営業部 第一課  
次長



金融業界での就職を目指して金融アカデミーを受講していました。本日は銀行の営業職の方から、新たな金融サービス「フィンテック」についてお話を伺いました。今後はフィンテックがさらに重要度を増すため、銀行でも専門部署を立ち上げ、より付加価値の高いサービスを目指すそうです。講義後の質疑応答でも、気になる事柄について快く回答いただきました。メガバンクの方から直接お話を聞けるこのアカデミーを活用し、今後の就職活動に活かしたいです。

歸山 優大さん  
経済学部経営学科3年生  
私立北陸高等学校出身

これまで、証券会社は「仕事がきつい」というイメージでした。銀行のように窓口から中の様子を見ることができず、実際の雰囲気が分からなかったからです。しかし今回、現場で働く方に直接お話を聞くと、残業時間の上限や有給休暇の消化状況など福利厚生面がしっかりしていること、また入社後の語学留学や女性の復帰率の高さなど、労働環境としての制度が整っていることを知り印象が変わりました。募集要項では知り得ない情報も知ることができるので今後の活動にきっと役立つはずです。

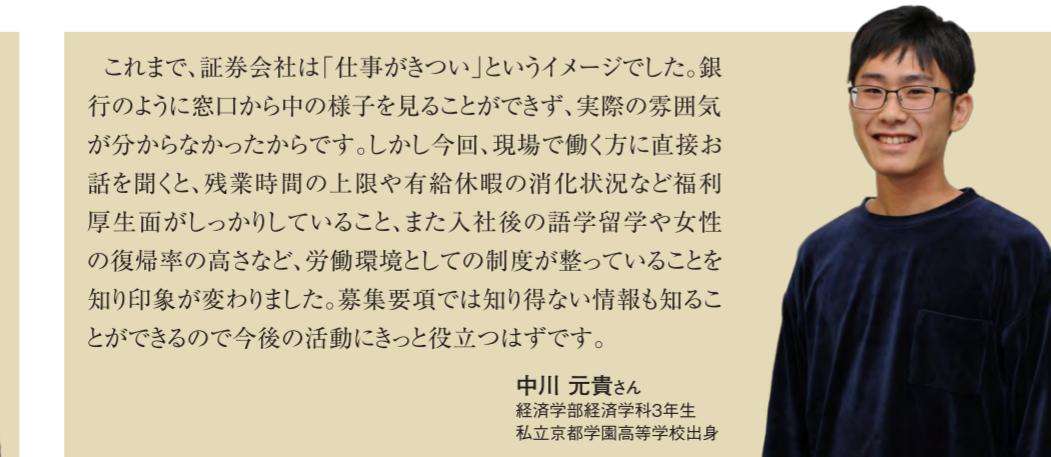
中川 元貴さん  
経済学部経営学科3年生  
私立京都学園高等学校出身



株式会社三井住友銀行 法人戦略部  
部長代理補 本田 裕章氏



自身の営業経験をもとに「お客様と一緒に成長できる仕事です」とやりがいを語る本田氏。



これまで、証券会社は「仕事がきつい」というイメージでした。銀行のように窓口から中の様子を見ることができず、実際の雰囲気が分からなかったからです。しかし今回、現場で働く方に直接お話を聞くと、残業時間の上限や有給休暇の消化状況など福利厚生面がしっかりしていること、また入社後の語学留学や女性の復帰率の高さなど、労働環境としての制度が整っていることを知り印象が変わりました。募集要項では知り得ない情報も知ることができるので今後の活動にきっと役立つはずです。

中川 元貴さん  
経済学部経営学科3年生  
私立京都学園高等学校出身

## 旅行

### インバウンドの勢いによって今後ますます成長傾向



東武トップソース株式会社  
関西支社 大阪法人事業部  
第二営業部 係長  
岡 一生氏

「クールジャパン」に見られるように、近年政府は海外に向けて日本の魅力を積極的にアピールしています。今後の訪日外国人の増加に伴い、さらなる成長が期待される業界です。ただ、国内か海外か、また募集型か受注型など、扱える旅行の種類は旅行会社によって多種多様。企業研究の際にには、国土交通省のホームページで紹介する「旅行業の区分」なども参考になると良いでしょう。

## 情報通信

### 大切なのはヒューマンスキル。文系出身者も活躍中!



株式会社エクス  
執行役員 管理本部 本部長  
市野 秀仁氏

理系のイメージが強い情報通信業界ですが、実際には文系出身者が大勢活躍しています。システムを開発するSEにとって最も必要なのは、依頼者の要望を見つけ、それを解決に向けて導くためのコミュニケーション能力やロジカルシンキング(論理的思考)といったヒューマンスキルです。プログラミングのようなITスキルは入社後でも十分学習できます。まずは内面を磨きヒューマンスキルを身につけましょう。

## 自己PRの極意

### 第一印象は見た目が9割。外見力UPで強みを最大限伝える

履歴書や面接でせっかく素晴らしい自己アピールをしても、メイクが派手すぎたり表情が乏しかったりすれば評価は半減してしまいます。就職活動にとって、「外見力」は重要なポイントです。そこで2017年11月10日のキャリア演習合同授業では、宝塚歌劇団の団員やプロモデルをはじめ、たくさんの就活生を撮影してきたプロカメラマンの赤松 隆氏を講師に招いて「人事担当者のココロをつかむ」「志望動機と外見力対策」について講演いただきました。

企業には、それぞれ業種・職種によって求める人物像があります。そこを意識することで、自分の強みをより効果的に伝えることができます。たとえば、金融業ならレギュラーシャツでボタンをきちんと締め堅実さを、観光業なら前髪を横に流して親しみやすさをアピールします。また女性はパールの入ったアイシャドウや長すぎるつけまつげは避け、くすれにくいリキッドアイライナーで目力をUP。一方男性はメイクできない分、ワックスやスプレーを使い清潔感ある髪型にまとめると好印象です。

人事担当者の目線に立ち、自分がどんな印象を与えているか客観的に判断するよう心掛けましょう。



settsu studio オーナーカメラマン  
赤松 隆氏



ヘアメイクアーティスト  
黒田 英里氏



## 国際物流

### 一つの変革期。企業を選ぶ際は「ESG投資」を意識して



株式会社社会科学研究所  
代表取締役  
山岸 千丈氏

国際物流業界では、外資系の新卒採用がとても少ないのが特徴です。まずは国内企業で7~8年間しっかりキャリアアップと実績を積み、その後、転職するという形がおすすめです。一方、国内ではここ数年、大手不動産会社が軒並み物流倉庫の建設に乗り出し、一つの変革期を迎えていました。企業を選ぶ時には環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)を大切にする企業を一つの目安にすると良いでしょう。

## ホテル編

### 良いサービスを提供するためには4つの「H」と語学力が大切!



株式会社阪急阪神ホテルズ  
経営統括本部  
人材開発部 チーフ  
浅井 緑氏

ホテル業界は、お客様に喜ばれる空間・時間・体験を提供する仕事です。期待される以上のサービスができるよう、常に「自分自身が商品だ」という意識を持って成長し続けることが大切。Hospitality(おもてなし)、Humanity(人間性)、Honesty(誠実さ)、Harmony(社会貢献)を持った人物が求められます。また最近では、インバウンドの関係から語学力も欠かせないスキルになってきています。

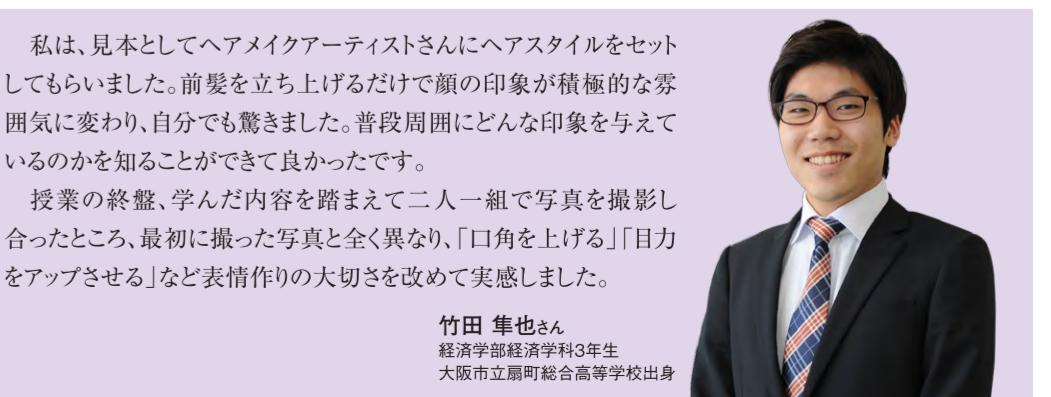
### 相手に与える印象を理解し、自己アピール力を磨く。



講座では、実際の企業の採点表をもとに、見た目の印象が面接の評価にどれだけ影響するかを教わりました。特に、「グループ面接で他の人の話を笑顔で聞くことができる」「明るく元気な受け答えができる」が10点満点中4点も占めている点には驚きました。

またメイクに関しては、ヘアメイクアーティストがアイブロウの書き方やファンデーションの色の選び方、おすすめの化粧品まで具体的に教えてくださいましたので、さっそく活用したいと思っています。

安永 あおいさん  
経済学部経営学科3年生  
私立長尾谷高等学校出身



竹田 隼也さん  
経済学部経営学科3年生  
大阪市立鶴町総合高等学校出身